

令和5年度伊豆の国市立韮山中学校

学校教育目標 自ら学び 共に歩み 豊かに表現する生徒

重点目標 学びをつなぐ 仲間をつなぐ 行為をつなぐ

韮中だより

4月 華

令和5年4月24日発行

かかわり合って学ぶ

桜の時期が過ぎ、校庭にはつつじやリンゴの花が鮮やかに色づき始めました。生徒も年度はじめの緊張が解け、週日課のリズムに乗った生活が定着しつつあります。学級担任が便り等で発信しているとおり、自主性のある頼もしい表れが散見され、それが教職員の意欲をいっそう高めていることも確かです。そのような場面を目の当たりにする度に、生徒や教職員にとってやり甲斐や生き甲斐のある学校づくりを推進しようという思いを強くします。



さて、本校の学校教育目標は、「自ら学び 共に歩み 豊かに表現する生徒」です。「自ら学ぶ」とは自分の頭でしっかり考えること、「共に歩む」とは仲間とかかわりあいながら学びを深め実感すること、「豊かに表現する」とは身につけたことを自分らしく生かすこと、と言えます。入学式・始業式で生徒に話したように、自分の夢や目標の実現に向けて、この学校教育目標を体現する生徒であってほしい。それが、本校が目指す生徒の姿です。

学校が学校たる所以の一つに、「生徒がかかわり合って学ぶ場」という概念があります。それは上述の「共に歩む」と同義です。生徒は、多様な人柄や考え方、価値観等に触れることにより、自分を見つめたり相手とのかかわり方を考えたりして自己を確立していきます。学校生活の中では、自分の思うようにならないことやうまくいかないことも決して少なくありません。しかしながら、これこそ学びの場であり成長の機会なのです。どうしたら解決できるのか考え、判断・決定し、行動に移すという一連の過程を経験することが自立への橋渡しとなります。この橋を教職員や保護者が一方的に作ってしまうことは、一時的な解決になることはあっても、生徒の成長を遮断してしまうことになりかねません。したがって、状況や状態によって加減は異なりますが、教職員はあえて前面的な指導を控えて生徒の主体性を導き出し、最適と思われる支援・援助に重きを置くこととなります。トラブル等の未然防止、早期発見・早期対応は大原則ですが、同時に「生徒を育てる」という視点を重視するのも学校の大原則です。もちろん、生徒が育つには時間がかかりますから、時には焦らず「待つ」ことも必要になってきます。

入学式でお願いしたことを改めて復唱させていただきます。

学校は多様な生徒が集まる場です。当然、よいことばかりでなく、衝突やトラブルもあります。しかしながら、それも育ちの肥やしとなります。我が子が育つには他の子ども育たなければなりません。とかく我が子の利益に目が行ってしまいがちですが、一歩下がって仲間全体の利益を大局的に考える姿勢が、保護者の皆様にも必要となります。その姿勢が、最終的には我が子の成長に寄与することになるからです。

保護者や地域の皆様には是非ともご理解いただき、連携・協力して韮中生の成長を図っていきたくと切に思います。どうぞよろしく申し上げます。 <文責：校長>

始業式4/6 入学式4/7

6日に新任式と始業式、7日に入学式を行いました。新入生159名を迎え、全校487名の仲間と令和5年度がスタートしました。

入学式では、新入生は少し緊張しながらも、呼名では元気な返事をする姿が見られました。話を聞く姿勢や誓いの言葉も立派で、中学校生活への意欲が伝わってきました。何事にも進んでチャレンジし、仲間と共に高め合いながら学習や生活を送ってほしいと思います。



4/6 クラス発表



4/7 入学式

授業参観懇談会 4/20

20日に、授業参観、PTA総会(リモート)、学級・学年懇談を行いました。

全学級で学級活動を参観していただきました。仲間作りのエンカウンターやタブレットを使った自己紹介、進路学習などを行いました。

リモートでのPTA総会では、令和4年度の小島会長、令和5年度の久保田会長からご挨拶いただきました。令和4年度のPTA役員の皆様には、多大なご支援をいただき誠に感謝申し上げます。また、令和5年度の役員の皆様には、引き続き葦山中学校の教育活動へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。



【職員の休暇について（お知らせ）】

本校職員が出産に伴う休暇に入りますので、お知らせいたします。

- 1 休暇に入る職員 教諭
- 2 休暇に入る月日 5月10日から
- 3 後任の職員 教諭（2年部所属 全学級の家庭科）

子供の立場から

- ・悩みがあって、すっきりしないなあ……
- ・勉強がうまく進まないなあ……

このようなことで
悩んでいませんか？

保護者の立場から

- ・子供が言うことを聞いてくれない……
- ・最近子供に元気がない気がする……

新年度が始まって1か月が過ぎようとしています。体も心も疲れを感じるころだと思えます。こういうときは、人間関係でもトラブルが生じやすく、不安や悩みも多くなるものです。子どもたちの気になる変化を感じ取ったときには、早めに学校に相談してください。担任はもちろん、そのほかの教員でもかまいません。

また、学校には心の教室相談員の他、定期的にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが来校します。スクールカウンセラーの1学期の来校日は以下の通りです。相談がある場合には、事前に予約をすることができます。

ぜひ、ご活用ください。

【 TEL 055-949-1061 】

< 1学期のスクールカウンセラー来校日 >

5月…	9日(火)	16日(火)	30日(火)
6月…	6日(火)	12日(月)	※授業参観日 20日(火)
7月…	4日(火)	11日(火)	

スクールカウンセラー

- ・学校で子供や保護者などの心のケアや支援を行います。生徒・保護者をサポートするほか、教員への指導・心のケアも行っております。

スクールソーシャルワーカー

- ・子供が生活の中で抱えるいろいろな問題の解決を図ります。生活環境を調整する相談や福祉制度の活用などを通し、子供や保護者の支援を行っています。

心の教室相談員

- ・子供の悩み相談・話し相手、保護者との相談など、心のケアや支援を行います。どんな悩みや不安でもかまわないので相談に来てください。

